

赤ちゃんも安心♪

育児用品を準備しよう!

おむつやベビーカーなど、退院後の赤ちゃんを、おうちに迎えるために用意するものはたくさん。出産予定日が近づき、忙しくなる前に、今後の子育てに合わせて、どんな育児用品が必要か確認しましょう。

出産前に用意しておきたいもの

チャイルドシート

病院から車でおうちに移動する際に必要なのがチャイルドシート。退院直後から使用する場合は、新生児用のチャイルドシートが必須です。使い方や取り付け方、どんな製品が適しているのか事前に確認しておきましょう。



ベビーベッド、お布団セット

赤ちゃんが寝るスペースをつくり、ベビーベッドやお布団セットを用意しておきましょう。ママやパパと一緒にベッドで寝るための添い寝グッズや転落を防ぐフェンスなどもあります。



生まれてから用意したいもの

ベビーカー

赤ちゃんを外にお出かけするときに必要なのがベビーカー。抱っこに疲れたときやおねんねのときに活躍します。寝ている赤ちゃんを起こさず、そのままおうちに入れる機能が備わったベビーカーも販売されています。



バウンサー

ごはんの用意やお掃除をするときなど、おとなしくしてほしいときに便利です。バウンサーのゆっくりとした揺れはママのおなかと似ているため、赤ちゃんはリラックスできます。対象年齢を確認して、新生児用など最適なものを選びましょう。



ベビーゲート、ベビーサークル

ハイハイや歩き始めた赤ちゃんはいろんなことに興味津々。家の中で冒険を始めます。そこで、キッチンや階段など、特定の場所に行かないようにするベビーゲートやベビーサークルが役立ちます。ベビーサークルには知育玩具が付いたものもあります。



育児用品の選び方のポイント!

安全性をチェック!

見た目や価格だけで選ばず、大切な赤ちゃんのために安全性で選ぶことが大切です。チャイルドシートやベビーカーなどの対象年齢もきちんと守ることが安全への第一歩です。

購入前にサイズや使い方をチェック!

仕様や使い方などを確認しないまま買ってしまうと、サイズが違っていたり、間違った使い方をしてしまい事故へとつながります。そこで、お店やショールームなどでフィッティングをするなど、きちんと確かめてから購入することも重要です。

抱っこひもは赤ちゃんにも確認してもらおう!

産前はおなかが大きくサイズ合わせがしづらく、赤ちゃんにも好みがあるため、抱っこひもは実際にフィット感やサイズも試せる産後に購入するのがおすすめです。

製品についている基準も確認しよう!

各種製品には安全基準が設けられているものがあります。育児用品を選ぶ際の一つのポイントとして覚えておきましょう。

SGマーク

安全性を認証された消費生活用製品に付けられるマーク

CEマーク

安全に厳しいEU加盟国の基準を満たすものに付けられるマーク

Eマーク

2006年10月以降に設けられた安全基準に適合しているチャイルドシートに付けられるマーク

広告

赤ちゃんは選べないから パパとママがきちんと選んでください



赤ちゃんがママのおなかにいる間、パパもいろんな準備が必要です。ベビーグッズもその一つ。でも、どんな商品がわからない。そんなときは日本育児のショールームへどうぞ。ベビーゲート、ベビーサークルなど多数の展示物を見て触れながら、設置したい場所・用途に合わせたご提案を致します。チャイルドシートのお試し装着も可能です。お客様のご要望に合わせた商品をご提案致しますので、ぜひ、ご家族でお越しください。

まるで“動くベッド”

スマートトラベルシステムもショールームで体験可能!

Smart Carry + Smart Stick = Smart Travel System



ベビーカーとして!



チャイルドシートとして!



ベビーラックとして!

スマートキャリーとスマートスティックのペア使用で、チャイルドシート、ベビーラック、ベビーキャリー、ベビーカーとして多機能に活躍! 眠っている赤ちゃんを起こすことなく、そのままの体勢で、例えばチャイルドシートからベビーカーなどに早変わり。これで、パパとママは安心して移動ができます。新生児から使えるため、出産後の退院時からすぐに役立ちます。

株式会社日本育児

大阪ショールーム

〒542-0081
大阪市中央区南船場4丁目9番9号
Naniwa BLD 1F
TEL 06-4704-8717 / FAX 06-4704-8718
【営業時間】月～土 10:00～18:00
【休日】日・祝

▼公式ホームページはこちら
<http://www.nihonikuji.co.jp>



「ぜひショールームへ!」

